

利用者心得

ご利用前「確認・厳守」のお願い

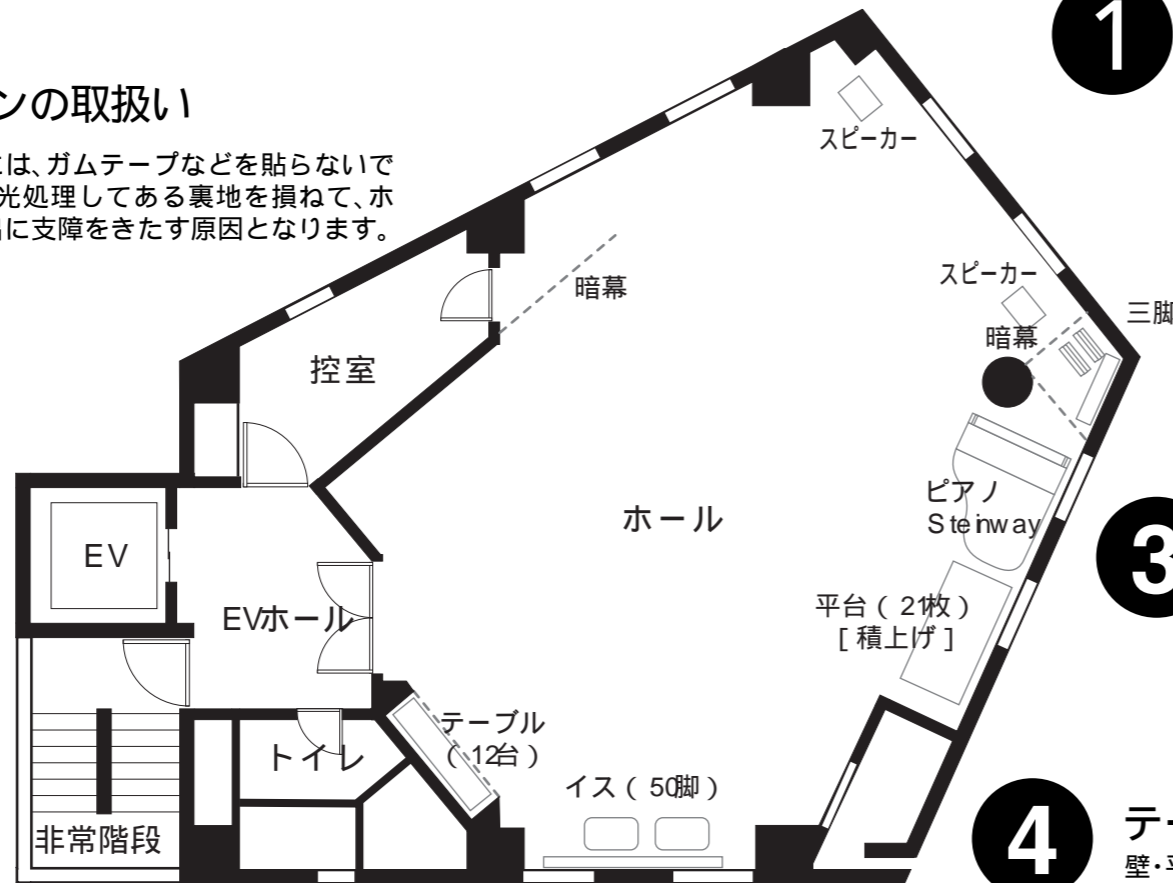
始めての方も、何度もご利用いただいている方も、
使用前に必ず読み合わせをして、関係者全員が心得て下さい。
終了後の平台の位置は、事前に確認をして下さい。
つぎの利用者のために、ホールは正しくきれいに使いましょう。
迷ったときは、気軽にご相談ください。

2002.12.22

門仲天井ホール支配人
黒崎 八重子

2 カーテンの取扱い

カーテンには、ガムテープなどを貼らないで下さい。遮光処理してある裏地を損ねて、ホールの演出に支障をきたす原因となります。



0 ごみ類は持ち帰りで

ホール利用時にでる、お弁当の空き箱やペットボトル、紙コップなどの容器類はお持ち帰りいただくようお願いいたします。

1 ホール内窓ガラスの開閉

窓の開閉につきましては、原則禁止しております。やむを得ず開ける場合であっても、ホール責任者の立ち会いの下でお願いします。

3 ピアノの扱いは丁寧に

ピアノの移動は、ホール責任者の立ち会いの下にお願いします。またピアノの下についても、除湿器以外の物を置かないようお願いします。

4 テープ類使用時の注意

壁・平台などへのガムテープ、両面テープ他の貼付は、しみや痕の原因となります。終了時には速やかにはがして下さい。床へのテープ使用につきましては、事前に養生テープを施して下さい。

5 1F 非常階段トビラの施錠

時折、非常階段を利用して、地上へと降りるお客様がいます。ホール利用終了時には1F非常階段の施錠をご確認下さい。窃盗による被害も出ております。警備面からも重ねてお願いします。

門仲天井ホールとは？

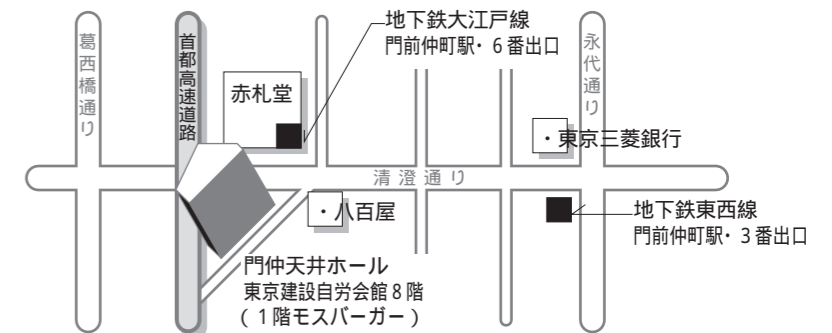
地下鉄東西線「門前仲町駅」の西側出口3から歩いて2分。
銀ブラで有名な都心の中央区と隅田川を一つ挟んで東側が江東区、深川と呼ばれていた江東区でも古くから賑わいのある地域の一角に「門仲天井ホール」があります。

ホールの誕生は1989年10月。建交労東京都本部と同東部支部が入る東京建設自労会館最上階の8階にできました。この場所は東京大空襲で焼け野原となった運河沿いの空き地で敗戦直後から仕事を求める労働者のたまり場だった所。全日自労深川部会（現建交労東部支部深川分会）のプレハブ作りの組合事務所が下町労働者の駆け込み寺となっていました。

ビルの建設を話し合う過程で、組合の大会議室は組合員が文化の夢を育て、かつ地域との接点も作れる多目的ホールとすることで設計が決まりました。

現在、組合で使っていない時には地域の文化的行事に使われています。

門仲天井ホールへのご案内



[連絡先]

〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-20-3-8F
tel.03-3641-8275/ fax.03-3820-8646
<http://www2.odn.ne.jp/mon-ten/index.htm>
Email: acn94264@par.odn.ne.jp

[交通案内]

営団地下鉄「門前仲町」駅 3番出口から徒歩3分
都営地下鉄大江戸線「門前仲町」駅 6番出口から徒歩1分
*駐車場はございません

[申込み/問合せ]

ご案内は平日(火曜休館)の13~17時とさせていただきます。